

いのちを守り いのちに寄り添う プロジェクト

◆多死社会に備える事業(例示)◆

- ◇「終活」に関する啓発事業
- ・公正証書遺言の作成、遺贈の促進
- ・病気になった場合の事前指定書の作成
- ・尊厳死宣言公正証書の作成
- ◇看取りボランティアの養成・派遣事業
- ◇救急搬送時情報提供の仕組みづくり

〈視点〉

- ◎医療(医師会)との行動連携をつくる

◆制度の狭間に対応する事業(例示)◆

- ◇「社・社連合」(社福複合体)を軸として進める事業
- ・福岡ライフレスキュー事業(第3のセーフティネットづくりの実践~個別支援の機能強化)
- ・社会福祉施設による地域貢献事業との協働(地域福祉推進のメインエンジンの形成と実践~「地域自立生活支援」の機能強化)
- ・フードバンク福岡、グリーンコープ生協ふくおかとの連携による生活困窮者等への支援事業

〈視点〉

- ◎社会福祉法人の価値を高める

◆災害時に備える事業(例示)◆

- ◇「自助教育」「受援力」に関する啓発事業
- ◇災害時助け合いマップ作成支援事業
- ◇個別計画(支え合いプラン)作成支援事業
- ◇避難所運営ゲーム(HUG)実施支援事業
- ◇「自治会加入促進行動計画」検討会
- ◇ペアレントメンター活動(疑似体験・障がい特性講義)促進事業
- ◇コミュニケーションボード検討会

〈視点〉

- ◎自治協との関係を強化する

◆尊厳を守る事業(例示)◆

- ◇日常生活自立支援事業から法人後見事業への移行支援事業
- ◇権利擁護シンポジウム
- ◇後見業務管理システムの導入
- ◇市民参加型後見人の組織化

〈視点〉

- ◎市民との協働により権利擁護体制をつくる

社会福祉充実財産等を活用して実施する戦略的新規事業

◆既存の関連事業◆

- ◇ずーっとあんしん安らか事業
- ◇やすらかパック事業
- ◇安心情報キット配付事業
- ◇遺贈プロジェクト

◆既存の関連事業◆

- ◇施設・事業所との行動連携による事業
- ・買物困難者・移動困難者支援事業
- ・地域カフェ開設・運営支援事業
- ・認知症徘徊高齢者発見時の相談支援事業
- ・「まちかどかかりつけ施設」事業
- ・「地域の子ども」プロジェクト
- ・調査研究事業
- ・生活福祉資金貸付事業
- ・生活保護世帯一時貸付事業

◆既存の関連事業◆

- ◇ふれあいネットワーク事業
- ◇見守りマップ作成支援事業
- ◇安心情報キット配付事業(再掲)
- ◇ふれあいサロン事業
- ◇「地域福祉活動における個人情報の共有化に関する取扱いの指針」活用事業
- ◇情報プラットフォーム検討会
- ◇知的障がい・発達障がいについて学ぶ福祉教育プログラム検討会

◆既存の関連事業◆

- ◇日常生活自立支援事業
- ◇法人後見事業
- ◇市民後見推進事業

第5期地域福祉活動計画の重点項目に関連する事業

機能の複合化

◆ソーシャルキャピタルの向上と地域力の強化◆

機能の複合化

◆生活困窮者自立支援事業(第2のセーフティネット)の機能発揮◆

- ◇自立相談支援事業
 - ・就労準備支援事業
 - ・就労訓練事業(いわゆる「中間的就労」)
 - ・緊急一時支援事業
 - ・家計相談支援事業
 - ・子ども・若者支援事業

具現化・実体化

◆起動プランの行動宣言“社協は、制度の狭間にある課題を抱える住民の「最後の砦」として、その課題を把握し、解決に向けて取り組む”◆
 〈プロジェクトの行動指針〉 ◎目の前にいるあなたから目をそらさない ◎生活を包括的に支援する ◎制度の狭間に落とさない